

令和6年度



みんなで取り組む自殺予防対策

～ 自殺予防対策は、生きる支援 ～



ゲートキーパー養成講座のご案内

(事業所・初級編)

働きざかり世代のいのちをみんなで守ろう！
気づき・声掛け・傾聴・見守りなどに
ついて学びませんか？

ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。ストレス社会において、労働者自身が、こころの健康を保つ工夫をするとともに、事業所全体でメンタルヘルスケアを推進することが求められているなか、市では、周囲の気づきを自殺予防につなげるために、自殺の実態や相談の受け方について学ぶゲートキーパー養成講座を開催してくださる事業所を募集しています。

講座内容

日時	令和6年度中 90～120分/回程度
場所	事業所の指定の場所（鹿児島市内）、もしくは、オンライン
内容	「鹿児島市における自殺の現状とその取り組み」 「悩んでいる人にあなたができること」
対象	鹿児島市内事業所の従業員 約10人/回以上
講師	公認心理師・臨床心理士など
受講料	無料

申し込み方法

オンライン（裏面QRコード）または電話、またはFAX（裏面）で、
保健支援課へ

【お問い合わせ先】

鹿児島市保健部保健支援課

電話：099-803-6929（直通）

FAX：099-803-7026

鹿児島市では、「鹿児島市自殺対策計画～誰も自殺に追い込まれることのないのち支える鹿児島市をめざして～」において、令和10年までに人口10万人あたりの自殺者数（自殺死亡率）を9.7以下にすることを目指しています。

鹿児島市の自殺の現状

ポイント1

自殺は、10歳代から50歳代までそれぞれの年齢階層の死亡原因の上位に入っている。

■年代別死亡原因の状況(H30～R4年合計)

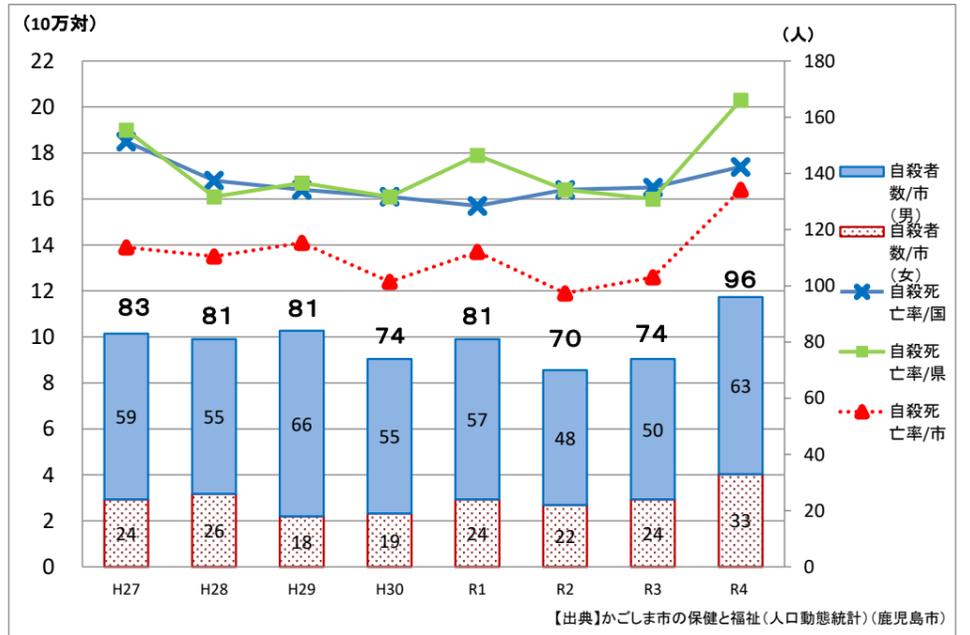
年齢(歳)	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
0～4	不慮の事故	脳血管疾患			
5～9	悪性新生物	不慮の事故			
10～14	悪性新生物	自殺	不慮の事故		
15～19	自殺	悪性新生物	不慮の事故	心疾患	
20～24	自殺	不慮の事故	悪性新生物	心疾患	
25～29	自殺	不慮の事故	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
30～34	自殺	不慮の事故	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患
35～39	自殺、悪性新生物(同数)		心疾患、不慮の事故(同数)		脳血管疾患
40～44	悪性新生物	自殺	脳血管疾患	不慮の事故	心疾患
45～49	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	自殺	不慮の事故
50～54	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	自殺	肝疾患
55～59	悪性新生物	心疾患	自殺	脳血管疾患	肝疾患
60～64	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	不慮の事故	自殺
65～69	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故
70～74	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	大動脈瘤及び解離
75～79	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故
80～84	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰
85～89	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰
90～	心疾患	老衰	悪性新生物	肺炎	脳血管疾患
合計	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	老衰	肺炎

【出典】かごしま市の保健と福祉(人口動態統計)

ポイント2

毎年80人前後の方が自殺で亡くなっている。

■鹿児島市の自殺者数の推移

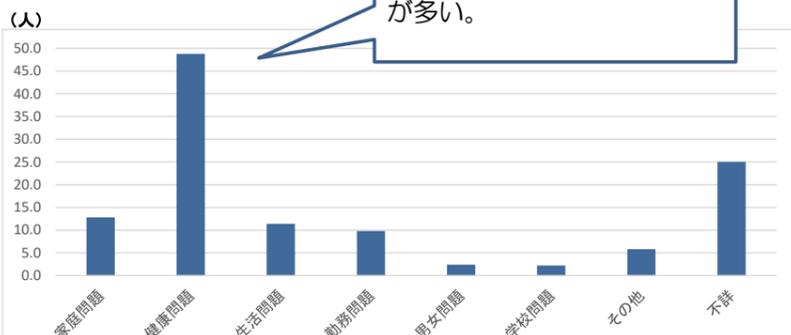


目的
自殺者数の減少!

ポイント4

自殺の原因は、「健康問題」が多い。

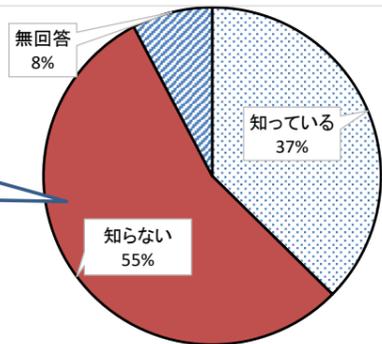
■自殺の原因動機



■相談窓口の認識度

ポイント6

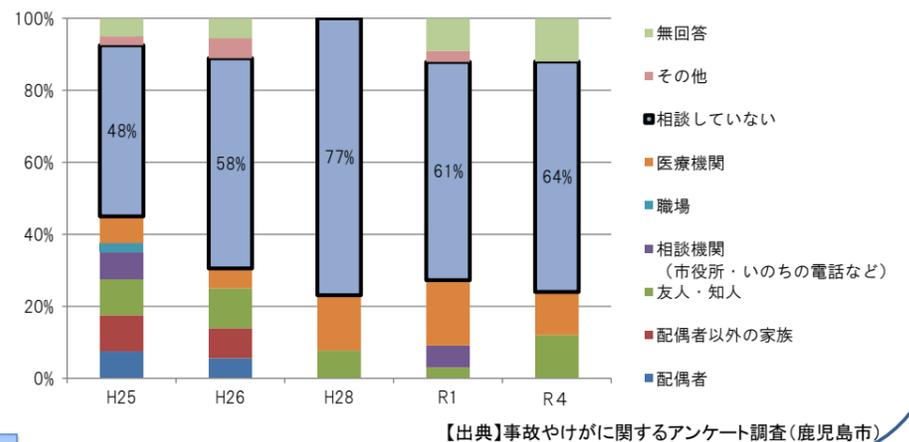
自殺に関する相談窓口を知らない人が多い。



ポイント5

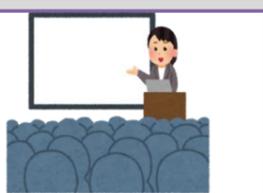
自殺を考えた時、相談していない人が多い。

■自殺を考えたときの相談先



自殺予防の普及啓発

- 鹿児島市の自殺の現状の周知
- メンタルヘルス講演会等の開催



相談しやすい場の設定

- 既存の相談窓口について、さらに相談しやすい場所・時間・方法を検討



自殺対策に関わる人材育成

- ゲートキーパー養成講座の開催
市民を対象とした講座
関係機関が主体となる講座



相談窓口の周知

- 相談窓口案内カードの作成および配布・設置
- 相談窓口の周知広報

